

資源の開発支援 石破外交の柱に 中央アジアに補佐官派遣

石破茂首相は資源が豊富な国の開発支援を外交政策の柱の一つに据える。長島昭久首相補佐官を中央アジアに派遣し、日本企業の技術力を生かし鉱物・エネルギー資源の採掘などで現地政府と連携を強める。

東南アジアや南米ともサプライチェーン（供給網）確保で協力拡大を探る。

長島氏は29日から資源大国のウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンの中央アジア5カ国を10日ほどかけて回る。

首相の親書を携え、各

国要人と会談する。日本と中央アジア諸国の首脳会談の実現や、レアメタル（希少金属）をはじめとする鉱物資源や石油、天然ガスなどのエネルギー資源の供給網を強化する方策を話し合う。